

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	冬季観光推進事業費				
担当課係名	観光課	観光係	作成者	赤坂知衡	
総合計画での位置づけ	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち			総合計画のページ
	基本計画	観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし			
		主要施策	観光資源の掘り起こし		
予算費目	一般会計	7款 商工費	1項 商工費	3目	観光費
事業期間	平成 年度	～ 平成 年度	新規／継続の区分		継続
性質区分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根拠法令等	なし				
事務区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運営方法	☐ 直営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	観光客のために角館町内の歴史や一昔前の冬の暮らしぶりを聞いていただく。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	観光客が減少する冬季の誘客推進を図る。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	冬がたりをかくのだて歴史案内人組合に委託する。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	冬がたり開催日数	目標	日	60	60	60	
			実績	日	60	60	60	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	成果指標	岩橋家来場者	目標	人	8,500	8,700	8,800	
			実績	人	8,645	9,197	8,150	
			達成度	%	101.7%	105.7%	92.6%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				1,079	1,107	1,082	
	人 件 費 (B)		—		785	807	793	
	職 員 数		—		0.10	0.10	0.10	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				1,864	1,914	1,875	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源				1,864	1,914	1,875
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		31,067	31,900	31,250
市民1人当たりのコスト(円)		—		58	61	60		

【事務事業の今までの成果】

平成12年度から実施しているが、冬がたりの利用者はあまり伸びてはいないものの、最近は関西からのお客さんも増えてきているなど、かなり知られるようになってきている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	県や市の視察等で毎回冬がたりを依頼されており、近年では韓国・台湾のエージェント視察時に依頼されることも増えてきている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	更にPRを続け、冬季観光推進の原動力となり得るよう期待されている。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
A	A 現状のまま継続（実施）	観光客が少ない冬季における観光客誘致に貢献している。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	冬季の誘客推進のため継続していますが、利用者の伸びにつながらない要因を調査し、改善を図りながら継続すべきと考えます。

一次評価診断図

